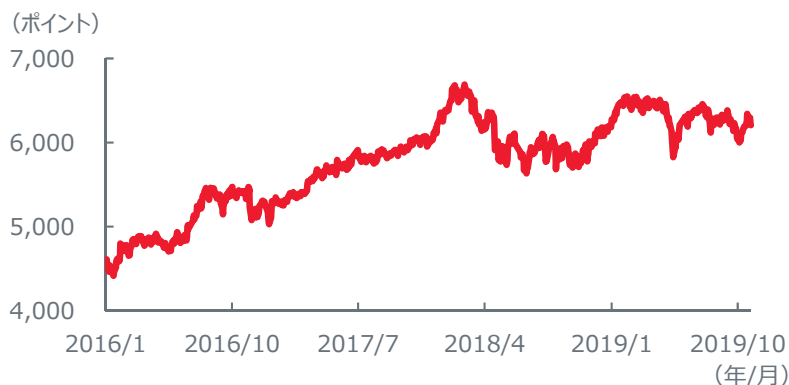


(対象期間：2019/10/28～2019/11/1)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
 (2016年1月4日～2019年11月1日)

【株式市場】

週の前半は、政府の未加工鉱石の禁輸措置の強化観測などを好感してニッケル株などが上昇、またタバコ税増税を嫌気して下落していたたばこ株などに買い戻しが入りました。しかし、週の後半は、利益確定売りで上値が重くなったほか、政府が1日からの産業用ガス料金値上げを延期したことから、天然ガス会社株が大幅下落となるなど、インドネシアの株式市場は週間では下落しました。

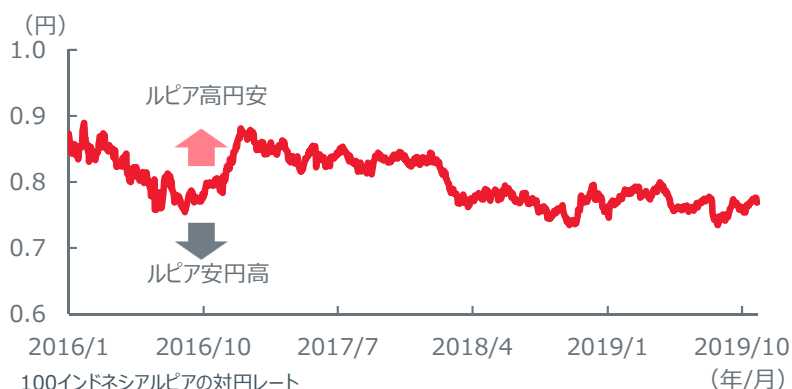
2019/10/25	2019/11/1	変化率
6,252.35	6,207.19	-0.72%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
 (2016年1月1日～2019年11月1日)

【債券市場】

週の前半は引き続き外国人の堅調な資金流入に支えられ、インドネシア10年国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。26日に行われたイスラム国債の入札では、前回に引き続き短期債を中心に好調となりました。1日に発表された10月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比+3.13%と予想を下回り、4月以来の低水準となりました。週の後半は、5日の入札を前にポジション調整の動きが広がり利回りはやや上昇しましたが、週間では利回り低下となりました。

2019/10/25	2019/11/1	変化幅
7.085	7.019	-0.066

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
 (2016年1月1日～2019年11月1日)

【為替市場】

前週に引き続きインドネシア国債市場に外国人の堅調な資金流入が見られましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）で、追加利下げについて休止が示唆されたことから、米ドルが堅調となり、ルピアは弱含みしました。週間ではルピアは対円、対米ドルともに下落しました。

2019/10/25	2019/11/1	変化率
0.7742	0.7690	-0.67%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

191105 (02)